



カトリック正義と平和協議会 90min. 学習会

ヒロシマ・ナガサキから 平和を考える

北海道に321名もの被爆者がいることをご存知でしょうか。その被爆者の平均年齢は82.6歳になりました。しかし被爆者は「再び被爆者をつくらない」ために、生きている限りあの地獄を語り伝えなければと考えています。

今年、国連で核兵器禁止条約が採択され ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)にノーベル平和賞が授与されることになりました。この出来事は長年の被爆者の願いにこたえるものでもあります。世界史はいまようやく核兵器廃絶に向けて新しい1ページを開こうとしています。

ところが他方で、日本を再び戦争できる国に作り変えようとする動きが次々出てきています。また核開発と核脅迫のエスカレートも顕著です。世界はいったいどこに向かおうとしているのでしょうか。

広島・長崎への原爆投下から72年、戦争と原爆の記憶はしだいに実感から遠くなってきています。いま私たちにできることは何なのでしょう。ヒロシマ・ナガサキから平和について考えてみたいと思います。

き た め く に お
講師 北明 邦雄さん

1947年名寄市風連町に生まれる。
大学卒業後北海高校に社会科教師として勤める。
4年前に退職し、北海道被爆者協会の仕事を手伝う。
現在同会事務局次長。



日時: 2017年12月19日(火) 18:30~20:00

会場: カトリック山鼻教会(中央区南10西11)

参加費
無料

利用交通機関: じょうてつバス

- ①札幌・大通り方面からは、下記のバスに乗り、南9条西11丁目で降車。
・南4(真駒内駅行)・南54(南町4丁目行)・南55(硬石山、藻岩高校前行)・南64(真駒内本町行)
- ②真駒内・定山溪方面からは、下記のバスに乗り、南11条西11丁目で降車。
・南4(西11丁目駅・市立病院前行)・南54(大通西4丁目行)・南55(札幌駅行)・南64(札幌駅北口行)

主催 カトリック札幌地区正義と平和協議会

問合せ 松永 武 011-864-5526